

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： 獣ナイン スプレーPK-500 デサビア  
 会社名： 株式会社 ピオニーコーポレーション  
 住所： 〒596-0078 大阪府岸和田市南上町1丁目19-21  
 担当部署： 特器事業部  
 電話番号： 072-431-7241  
 緊急連絡先： 同上  
 FAX番号： 072-432-2016  
 作成日： 2022年4月1日  
 SDS番号 PKD012

### 2. 危険有害性の要約

<b>物理化学的危険性：</b> 爆発物 可燃性ガス エアゾール 酸化性ガス 高圧ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質 純性化爆発物	分類できない 区分に該当しない (分類対象外) 区分に該当しない (分類対象外) 区分に該当しない (分類対象外) 区分に該当しない (分類対象外) 分類できない 区分に該当しない (分類対象外) 分類できない 分類できない 区分に該当しない (分類対象外) 分類できない 分類できない 分類できない 区分に該当しない (分類対象外) 分類できない 分類できない 分類できない
<b>健康有害性：</b> 急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入：気体) 急性毒性 (吸入：蒸気) 急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 誤えん有害性	区分に該当しない 分類できない 区分に該当しない (分類対象外) 分類できない 分類できない 区分2B 分類できない 区分1A 分類できない 区分1A 区分1A 区分3 (気道刺激性), 区分3 (麻酔作用) 区分2 (中枢神経系), 区分1 (肝臓) 分類できない
<b>環境有害性：</b> 水生環境有害性 (急性) 水生環境有害性 (慢性) オゾン層への有害性	区分2 区分2 分類できない

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 危険  
 危険有害性情報： H317 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ  
 H320 眼刺激  
 H335 呼吸器への刺激のおそれ  
 H336 長期継続的影響によって水生生物に毒性  
 H350 発がんのおそれ  
 H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 H373 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ  
 H373 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：  
 【安全対策】 P201 使用前に取扱い説明書を入手すること。  
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。  
 P264 取扱い後は、手をよく洗うこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 P273 環境への放出を避けること。  
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】  
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。  
 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。  
 P312 気分が悪いときは医師に連絡をすること。  
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。  
 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。  
 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。  
 P391 漏出物を回収すること。

【保管】 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P405 施錠して保管すること。

【廃棄】 P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って適切に廃棄すること。

---

### 3. 組成、成分情報

---

製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

	CAS. No	含有量 (%)	化審法番号
--	---------	---------	-------

---

13種植物抽出エキス	未公開	41	対象外
唐辛子エキス抽出水溶液	未公開	10	対象外
アリルイソチオシアネート	57-06-7	2	2-1689
備長炭水（精製水）	7732-18-5	47	対象外

注記；これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 4. 応急処置

吸収した場合：水でうがいをする。  
皮膚に付着した  
場合：水で洗浄をする。  
眼に入った場合：直ちに清浄な水で洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師に連絡する。

#### 5. 火災時の処置

消火方法：本剤自体は燃えないが、他に引火源があれば燃える。  
消火作業は風上から行い、容器などから有毒ガスが発生する可能性がある  
ので  
有毒ガスの吸入を避ける。安全と判断され、移動可能な容器は、  
速やかに安全な場所に移動し、消火剤で消火する。  
消火剤：多量の水、炭酸ガス、粉末、耐アルコール

#### 6. 漏出時の処置

空容器に回収し、漏出場所に大量の散水を行い、モップ・布等で綺麗に拭き取る。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：特に法的規制はないが、長時間連続して大量に取扱う場合は、作業環境の  
浄化に配慮する。  
保管：高温多湿を避け、冷暗所に保管。また、容器の栓等はしっかり閉める。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：安全衛生法作業環境評価基準に規定されていない。  
許容濃度：日本産業衛生学会（2011）に記載なし。  
保護具：保護眼鏡・保護手袋・保護衣などを使用する。

#### 9. 物理的及び化学的性質

外観：茶褐色液体  
臭い：ワサビ臭  
引火点：知見なし  
融点：測定データ無し  
沸点：測定データ無し  
pH：未測定（℃）  
比重：未測定（℃）  
粘度：測定データ無し  
溶解性：なし

#### 10. 安定性及び反応性

可燃性 知見なし  
酸化性 知見なし  
自己反応性 無し  
爆発性 無し  
安定性 高温な場所以外なら一般的貯蔵取扱いにおいても安定

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 区分4: CAS番号: 57-06-7 (毒性値=339.0000000mg/kg 含有率=2% 出典: NITE)  
区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY), CAS番号: なし (毒性値=10000.0000000mg/kg 含有率=30% 出典: AFTY), CAS番号: 9005-64-5 (毒性値=39000.0000000mg/kg 含有率=6% 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 出典: NITE)  
ATEmix=100 / ((2% / 339.0000000mg/kg)) 計算結果が16950mg/kgのため、区分外に該当。

眼に対する重篤な損傷・

眼刺激性 : 区分2B: CAS番号: なし (含有率=30% 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 出典: NITE)  
区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY), CAS番号: 9005-64-5 (含有率=6% 界面活性剤、その他の成分) 分類できない: CAS番号: 57-06-7 (含有率=2% 出典: NITE)  
加成方式が適用できる成分からの判定:  
区分2Bの成分合計が35%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2Bに該当。

皮膚感作性 : 区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY) 分類できない: CAS番号: なし (含有率=30% 出典: AFTY), CAS番号: 9005-64-5 (含有率=6% 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 出典: NITE) 区分1: CAS番号: 57-06-7 (含有率=2% 出典: NITE) CAS番号: 57-06-7が2% $\geq$ 1%のため、区分1に該当。

発がん性 : 区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY), CAS番号: なし (含有率=30% 出典: AFTY) 分類できない: CAS番号: 9005-64-5 (含有率=6% 出典: AFTY), CAS番号: 57-06-7 (含有率=2% 出典: NITE) 区分1A: CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 出典: NITE) CAS番号: 64-17-5が5% $\geq$ 0.1%のため、区分1Aに該当。

生殖毒性 : 区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY) 分類できない: CAS番号: 9005-64-5 (含有率=6% 出典: AFTY), CAS番号: 57-06-7 (含有率=2% 出典: NITE) 区分1A: CAS番号: なし (含有率=30% 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 出典: NITE) CAS番号: なしが30% $\geq$ 0.3%のため、区分1Aに該当。

特定標的臓器毒性

(単回ばく露) : 区分3: CAS番号: なし (含有率=30% 臓器=気道刺激性 出典: AFTY), CAS番号: なし (含有率=30% 臓器=麻酔作用 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 臓器=気道刺激性 出典: NITE), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 臓器=麻酔作用 出典: NITE) 区分外: CAS番号: 7732-18-5 (含有率=57% 出典: AFTY) 分類できない: CAS番号: 9005-64-5 (含有率=6% 出典: AFTY), CAS番号: 57-06-7 (含有率=2% 出典: NITE)  
区分3(気道刺激性)の成分合計が35%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。区分3(麻酔作用)の成分合計が35%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。

特定標的臓器毒性

(反復ばく露) : 区分2: CAS番号: なし (含有率=30% 臓器=中枢神経系 出典: AFTY), CAS番号: 64-17-5 (含有率=5% 臓器=中枢神経系

出典:NITE), CAS番号:57-06-7 (含有率=2% 臓器=肝臓 出典:NITE), CAS番号:57-06-7 (含有率=2% 臓器=腎臓 出典:NITE), CAS番号:57-06-7 (含有率=2% 臓器=膀胱 出典:NITE)  
 区分外: CAS番号:7732-18-5 (含有率=57% 出典:AFTY)  
 分類できない: CAS番号:9005-64-5 (含有率=6% 出典:AFTY)  
 区分1: CAS番号:なし (含有率=30% 臓器=肝臓 出典:AFTY), CAS番号:64-17-5 (含有率=5% 臓器=肝臓 出典:NITE)  
 CAS番号:なし が30% $\geq$ 10%のため、区分2 (中枢神経系) に該当。CAS番号:なし が30% $\geq$ 10%のため、区分1 (肝臓) に該当。CAS番号:64-17-5が5% $\geq$ 1%のため、区分2 (肝臓) に該当。  
 区分2:64-17-5 (肝臓) は、上位区分の区分1: (肝臓) へ纏めた。  
 分類に寄与しない成分: CAS番号:64-17-5 (区分=区分2 (中枢神経系) 含有率=5% 出典:NITE) CAS番号:57-06-7 (区分=区分2 (肝臓) 含有率=2% 出典:NITE) CAS番号:57-06-7 (区分=区分2 (腎臓) 含有率=2% 出典:NITE) CAS番号:57-06-7 (区分=区分2 (膀胱) 含有率=2% 出典:NITE)

## 12. 環境影響情報

- 水生環境有害性 (急性) : 区分外: CAS番号:7732-18-5 (含有率=57% 毒性値 (魚類) = なし 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 出典: AFTY), CAS番号:なし (含有率=30% 毒性値 (魚類) = 10000.00000000mg/l 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 出典: AFTY), CAS番号:64-17-5 (含有率=5% 毒性値 (魚類) = 11200.00000000mg/l 毒性値 (甲殻類) = 5463.00000000mg/l 毒性値 (藻類) = 1000.00000000mg/l 出典: NITE)  
 分類できない: CAS番号:9005-64-5 (含有率=6% 毒性値 (魚類) = なし 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 出典: AFTY)  
 区分1: CAS番号:57-06-7 (含有率=2% 毒性値 (魚類) = 0.07700000mg/l 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 出典: NITE)  
 方式1: 加算式 魚類:  $37 / ((2\% / 0.07700000\text{mg/l}))$   
 計算結果=計算値: 1.4245mg/l、分類区分: 区分2  
 加算法 魚類: (毒性乗率 $\times$ 10 $\times$ 区分1)+区分2が37%であり、濃度限界 (25%) 以上のため、区分2に該当。  
 方式2: 加算式  $37 / ((2\% / 0.07700000\text{mg/l}))$   
 計算結果=計算値: 1.4245mg/l、分類区分: 区分2  
 加算法 (毒性乗率 $\times$ 10 $\times$ 区分1)+区分2が37%であり、濃度限界 (25%) 以上のため、区分2に該当。  
 方式3: 加算法 (毒性乗率 $\times$ 10 $\times$ 区分1)+区分2が200%であり、濃度限界 (25%) 以上のため、区分2に該当。  
 方式1=区分2、方式2=区分2、方式3=区分2より区分2に該当。
- 水生環境有害性 (長期) : 区分2: CAS番号:なし (含有率=30% 毒性値 (魚類) = なし 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 急速分解性=不明 出典: AFTY) 区分外: CAS番号:7732-18-5 (含有率=57% 毒性値 (魚類) = なし 毒性値 (甲殻類) = なし 毒性値 (藻類) = なし 急速分解性=不明 出典: AFTY), CAS番号:64-17-5 (含有率=5% 毒性値 (魚類) = なし 毒性値 (甲殻類) = 9.60000000mg/l 毒性値 (藻類) = なし 急速分解性=有 出典: NITE)  
 分類できない: CAS番号:9005-64-5 (含有率=6% 毒性値 (魚類) =

1000.00000000mg/l 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし  
急速分解性=不明 出典:AFTY)

区分1:CAS番号:57-06-7(含有率=2% 毒性値（魚類）=0.00850000mg/l  
毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=無  
出典:NITE)

方式1:

加算式 魚類:  $8 / ((2\% / (0.00850000\text{mg/l} \times 0.1)))$  計算結果=  
計算値:0.0034mg/l、分類区分:区分1、毒性乗率:1

加算法 魚類:(毒性乗率×10×区分1)+区分2が110%であり、  
濃度限界（25%）以上のため、区分2に該当。

方式2:

加算式 13 / ((2% / (0.00850000mg/l x 0.1)))

計算結果=計算値:0.005525mg/l、分類区分:区分1、

毒性乗率:1

加算法（毒性乗率×10×区分1）+区分2が160%であり、濃度  
限界（25%）以上のため、区分2に該当。

方式3: 加算法（毒性乗率×10×区分1）+区分2が230%で  
あり、濃度限界（25%）以上のため、区分2に該当。

方式1=区分2、方式2=区分2、方式3=区分2より区分2に  
該当。

---

### 13. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方  
公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の  
基準に従って適切な処分を行う。

---

### 14. 輸送上の注意

---

共通： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

個包装に損傷を与えないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国際規制：原料に以下の物質を含む。

国連番号：1545

正式輸送名：イソチオシアン酸アリル（アリルマスタードオイル）

分類または区分：6.1

容器等級：II

航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMOの規定に従う。

海洋汚染物質：非該当

国内規制：原料に以下の物質を含む。

国連番号：1545

正式輸送名：イソチオシアン酸アリル（アリルマスタードオイル）

分類または区分：6.1

容器等級：II

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

輸送に際しては、直射日光を容器の漏れのないこと及び所定の表示のあること  
を確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

---

## 15. 適用法令

---

労働安全衛生法： エタノール  
名称等を通知すべき危険物及び有害物  
(0.1重量%以上を含有する製剤その他の物)

消防法： 非該当  
毒物劇物取締法： 非該当  
大気汚染防止法： 非該当  
水質汚濁防止法： 非該当  
土壌汚染対策法： 非該当  
海洋汚染防止法： 非該当

化学物質管理  
促進法（PRTR法）： 非該当

---

## 16. その他の情報

---

主な引用文献      GHS 混合物分類判定システム  
                         NITE 化学物質総合情報提供システム  
                         原料SDS

### 〔注意〕

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。